

弓道ながの

第24号

発行：長野県弓道連盟
会長 山川茂樹
〒396-0021
伊那市大字伊那3919-3
TEL0265(72)3060
編集：県弓連広報部
印刷：中央堂印刷社

年頭にあたって

基本に忠実な修練を

長野県弓道連盟会長 山川茂樹



明けましておめでとございます。希望に満ちた新春をご家族お揃いでお迎えることと存じます。

昨年も痛ましい事件や事故の記事が新聞紙上から絶えない一年でした。弓道の心が強く求められる世相でありま

す。弓道を通じて明るい社会のために少しでも貢献したいものです。この一年会員皆様のご協力のもと県弓連の計画した事業を推進することができました。特に初めての計画であった追悼射会も会員多数の参加でその目的を果たすことができました。

会員の活躍は五月に全日本弓道大会 練士の部五位入賞、八月全国中学生弓道大会で長野日大中学の女子団体入賞



弓道祭矢渡

および個人の入賞を始め、秋田わか杉国体では近似的種目で成年男子準優勝、少年男子が三位に入賞、総合七位となり目覚ましい活躍で期待に沿うことができました。少年男子小林太志選手が

鈴木会長の講評の中で射技優秀とお褒めの言葉をいただきました。強化部の目指す強化の方針が正しいことを確認できたのではないかと思います。十一月の明治神宮奉納全国大会で三位に入賞と本年の最後を締めくくりました。一方全日本弓道選手権大会では振るわず指定選手制度を活用し選手の育成に一層の力を傾注しなければならぬことを痛感しました。昨年の昇段昇格者は教士二名、練士十二名と例年に比較して練士が多数昇格となりました。一層修練に励み指導者としての知識と技能を身につけ、立派な指導者になることを願っております。

遅れていた会員管理システムも検討委員会の努力により軌道に乗ることができました。このシステムの効率的な運用までには、多くの課題があります。会員皆様のご協力をお願いします。

新しい年の課題として、会計処理規程の制定、旅費支給規定の再検討等、十分検討をしていただき、県弓道の健全な事業の推進の基礎を確りと築いていかなければなりません。

また昨年の常任理事会並びに事業部会で各事業部の計画案が熱心な検討を経て立派にできました。一月の評議員会で決定を図り県弓連の活発な活動の基になることを願っております。そのためには会員の協力がなければ事業計画が完全に達成することができません。講習会や、審査会、競技会等に積極的に参加して技術の向上と基本動作の修練に励み、基本に徹した正しい弓道を習得し、選手権や国体に、また昇格昇段にその力を発揮することを強く期待しております。

そしてその力を結集して県弓連のますますの発展を期さなければなりません。年頭にあたり会員皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念してご挨拶と致します。

平成19年秋田わか杉国体弓道競技

成年男子近的2位
少年男子近的3位
天皇杯7位の活躍

強化部長 北嶋 晋

平成19年秋田わか杉国体弓道競技は興奮の内に終了しました。ここにその結果報告をさせていただきます。

少年男子近的予選は、24射19中で参加、20県の中で8番目の的でした。同中5県による競射に勝ち、決勝トーナメント進出を決めました。大会2日目の遠的予選は、24射20中の合計点数130点で、1点足らずの予選敗退に終わりました。成年男子遠的優勝の石川県に北信越ブロック予選では勝った経緯があるだけに本当に悔しいものがありました。

少年男子近的1回戦の相手は遠的に優勝の神奈川県、9対6で退け準決勝進出。相手は予選トップ通過の宮城県、一進一退の緊張感ある戦いの末10対11で惜敗し、3位4位決定戦にまわりました。同中競射を重ね、広島を破り、3位となりました。少年女子近的予選は、24射12中で本

来の力を発揮できぬまま予選敗退しました。本年は、19中以上が5県、18中が3県の計8県が決勝に進出するレベルの高さでした。続く遠的予選は24射11中の合計点数66点で敗退しました。遠的には特に力を入れて練習してきただけにシヨックでしたが、「勝ったときは選手のちから、負けたときは強化部の責任」を心に銘じ臥薪嘗胆。

成年男子遠的予選は、24射21中の合計点数135点で17位の成績で予選敗退しました。北信越の新潟、富山、石川は予選を通過し、石川県は優勝、富山県は3位となりました。来年度から始まるブロック予選を考えると、遠的に関しては厳しいものがあると思いましたが、悔しい思いをかみしめて臨んだ近的予選は、24射22中とトップで通過し、兜の緒を締める「気持ちで上位16県によるトーナメントに。晴天が続いていた今大会ですが、朝からすごい雨の中で

の決勝トーナメントとなりました。1回戦の相手は埼玉県、昨年度の覇者。11対8で退けベスト8進出。2回戦の相手は同じブロックの富山県、9対7でこれも退けベスト4進出。3回戦の相手は茨城県、10対8で退け遂に決勝に進出しました。相手は準決勝で12射皆中の兵庫県、決勝戦にふさわしい緊迫した試合で、11対11の同中（相手に疑問矢あり、だが判定は覆らず）で1本競射へ、2対3で優勝を逃すも、本県選手の堂々とした射は印象的で感動



近的3位の少年男子

惜しくも予選敗退の少年女子



しました。
うれしい知らせがあります。閉会式の折、全弓連会長の鈴木三成先生が講評の中で、本県少年男子2的、小林大志君の名前をあげてその射のすばらしさを褒めてくださいました。また、長野県の少年男子3名は今大会では一番ともおっしゃっていました。「正しい射」を基本において選手選考をし、強化してきた我々の方針に間違いはなかったと改めて実感いたしました。それは昨年の少年女子の活躍にも裏づけされています。高校、大学を卒業して



表彰式終了後 鈴木全弓連会長と

も弓を続けることができる「正しい」をこれからも伝えていきたいと思えます。
最後に、温かい声援を送っていただきました皆様方、快く練習会場を提供してくださいました松本、長野、須坂の弓友会の皆様方、はるばる秋田まで応援に来てくださった皆様方、本当にありがとうございました。



喜びの長野県選手団

成年男子 大接戦で準優勝

競射で敗れる

「勝つて終わりだった。3人の3人は、目前の決勝。競射の末、2人に涙を見せた。6日の予選は24射22中、3で兵庫に敗れた志村(山一発条)、中村(東洋技研)、市川(野村ユメント)でも3人がふたまたま。11. 勝負は競射に持ち込まれた。

通りの力を発揮し、1回戦、準々決勝、準決勝のすべてで2中以上の差をつけて勝ち上がった。決勝の1射目は長野、兵庫とも全員のミスで迎えた2射目は、予選から連続的中していた志村、中村の矢が「優勝を意識してしまっ」と的を射た。だが団体初出場の3番手市川がそのミスをカバーする皆中で11-11. 勝負は競射に持ち込まれた。

志村が外し、最後の最後で屈したが、大口監督(木島平村役場)は「強化を積んだ昨年の団体開催県を相手によく戦った。準優勝はうれしい結果」と、選手たちをねぎらった。

「ここにかすぎがあったら。そのすきを埋められる選手になって戻ってきた」と志村。市川は「(志村、中村の)2人のように、次は自分がチームを引っ張るようになりたい」と新たな決意を口に、届かなかった目標に向けて再出発を誓った。

(丸山祥子)

少年男子 勝負強さ発揮 3位

弓道少年男子近代的3位の健闘した松井、須沢(ともに大町高)小林(塩尻志学館高)準決勝で宮城に敗れ、「これ以上負けてはダメか」と臨んだ3位決定戦。2度の競射の末に勝利をつかんだ。

3位決定戦の相手は広島。3日、5日、7日の近代的予選は、長野、宮城、塩尻、大町、塩尻の5チームによる競林が外したものの、「ほのかの2人が当ててくれる」と思い気持ちを切り替えた。2回目には3人とも射に的中し、5-5で競射にもつれ込んだ。その競射で3人は1、2回目



弓道少年男子団体が3位入賞した長野の左から松井剛(大町高)、小林大志(塩尻志学館高)、須沢良光(大町高)

↑19年10月8日 信濃毎日新聞

19年10月9日 信濃毎日新聞→

平成19年度



11月23日/塩尻市営/参加者78名
被表彰者42名

平成19年度の昇段・昇格者及び全国大会入賞者を祝う弓道祭が盛大に開催された。

山川茂樹会長の祝辞のあと、各種受賞者に感謝状と記念品が贈られ、受賞者を代表して、宮島一前理事が謝辞を述べた。

被表彰者は次の通り(敬称略)

県知事表彰 齋藤節朗(長野)

県有効表彰 櫻井耕三(長野)

役員退任者 櫻井耕三(長野)

宮島 一(飯伊) 吉澤金房(塩尻)

近藤明子(松本) 渡邊富三(長野)

高井忠史(上下) 岡田 眞(飯山)

昇段・昇格者

教士

押金 孝(上小)

錬士

深澤健二(松本) 宮阪和久(中高)

井垣貴夫(松本) 加藤明美(長野)

井出 隆(松本) 山本雅晃(長野)

加藤さち子(塩尻) 木下禄真(諏訪)

郷道隆志(中高) 中野孝志(長野)

茂原智子(長野) 原 富子(飯伊)

荒木義博(長野) 松倉 志(長野)

第58回全日本弓道大会

錬士の部 5位 中田真也(木曾)

明治神宮奉納全国弓道大会

称号者の部 第3位土川俊市(木曾)

第4回全国中学生弓道大会

女子団体の部 第3位

長野日本大学中学校

監督 武藤英見

選手 梅原萌花 依田春香

瀧澤知世 清水真紀子

個人女子第5位 瀧澤知世

女子技能優秀賞 瀧澤知世

個人第8位 堀内竜太郎

第62回国民体育大会

成年男子近的 第2位

監督 大口晴男

選手 志村 仁 中村 宏

市川隆光

少年男子近的 第3位

監督 山浦 博

選手 松井 剛 小林大志

須澤良光

会長特別表彰 小林大志

表彰式のあと、山川茂樹会長の矢渡

(第一介添 北嶋 晋強化部長、第二介添 大蔵 務競技部長)が行われ、引き続き祝射一手、被表彰者の答礼射一手皆中者による射詰競射が行われた。



表彰式



祝射



答礼射

弓道祭射詰競射の結果

優勝 須澤 良光(大町高校)

準優勝 杉田 博(松本)

3位 丸山 泰利(大北)



優勝の須澤選手

連載

私の歩んだ道

大久保秀雄

長野運動公園弓道クラブのみなさんを指導して一番楽しいのは、ほとんど初心者だった人が、次第に上達していく過程を見られることである。

また、弓道に上限年齢はなく、道場で弓が引けさえすれば、生涯現役である。年を取って力がなくなってきたら、弓力が弱い弓に変えればよいのである。そう言った意味でも一生楽しめるスポーツとしてぜひ、興味がある人は始めてみてほしい。

また、弓道は、初心者が一人で練習すると逆効果のこともあるので注意してもらいたい。なぜなら、目の前の的の中させることにいつの間にか意識が行ってしまい、自分に都合のいいような楽な力の使い方に傾いてしまうからである。体が曲がっていてもお構いなし、などということになりがちなのだ。

私は5段以上の腕前になるまでは、しかるべき指導者に付いて、何回も矢を射る一連の動作を逐一矯正してもら



長野運動公園弓道クラブの練習風景(菅平高原 天狗ロッチ弓道場)

い、一番美しい基本の姿に何年かかっても近づけていくべきだと思っ

早いもので、クラブは平成10(1998)年に創立20周年を迎えた。そこでそれを記念して、クラブ員全員の執筆による「弓友」という記念誌を発行したのだが、20年間の足跡が工夫してまとめられており、私の大切な宝物となっている。

さて、平成5(1993)年2月からは推挙されて県弓道連盟の会長となり、その後4年ほど県内連盟行事の企画運営に当たり、非常に忙しい毎日を経験していたが、全面的に妻に任せていた年老いた母の介護に、私も当然ならなければならない深刻な状況になったこともあり、会長を辞した。

結局、長男だから親の面倒を見なければいけないという、昔のしきたりに従ったわけだ。

母は、昭和56(1981)年に父が突然脳血栓で亡くなってからずっと、足腰が弱って這って生活するような状態になっても緑町の家を離れようとしなかった。

当時、別に家を新築して移り住んでいた私たち夫婦が、いくら同居を勧め

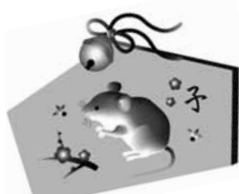
ても頑として受け付けなかった。

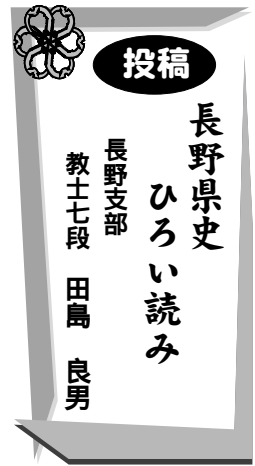
しかし、とうとう母に時々幻想が現れるようになるなど、ガスや電気の扱いにも不安が生じるようになったので、私たちが平成2(1990)年から緑町の家に移り、同居するようになった。そのころから、母は全く寝たきりのような状態になってしまったので、妻が一切の面倒を見ていたが、特に全面的な介護が必要だった最後の10年間は苦勞の掛け通しだったと思う。

ちょうど県弓道連盟の会長をやっていた当時はこんな状態で、家の中は本当に大変だった。

母は平成12(2000)年、100歳を目前に他界したが、本当に長生きしたものである。

生来気丈夫で、負けん気の強い人だったから、妻も随分泣かされたと思う。最後の最後まで母の世話をよく見てくれたことに感謝している。





長野市(旧豊野町)に有名な中世の山城、大倉城跡があります。今から約420年前に婦女子だけでも1,000人以上が虐殺されたという悲惨な戦いがあつた。その跡を知りたくて、過日その大倉城跡へ登ってきたのですが、その時城跡への登り口より更に奥へ登って行った。

山中に思つてもみなかった、長野市教育委員会の案内板と小さな五輪塔を見つけたのです。

その説明板に
長澄(別名長隆)の墓、とありまして、鎌倉時代の大倉城主、大倉与一長澄の墓と伝えられる。長澄は信濃守護小笠原長清の七男(十二男とも云われる)で弓の達人としても知られる(後略)

弓の達人という字が私の脳裏に焼き付き、早速「長野県史第二巻中世編」を開いてみました。「長澄」については記述がありませんでしたが、その父

小笠原長清については、次のようにして記述されておりました。

源頼朝が建久4年(1193年)下野国那須野と信濃国三原での狩倉の見物に出発した時、弓馬に秀でた武将22人を選出したが、その中に信濃から小笠原長清、金刺盛澄ら4人が選ばれたとありました。(金刺盛澄については、前回に書きました。第15号)

大倉城主長澄は、やはり父長清からの血筋と、環境と、勿論弛まない稽古によつてでしょうが、弓の達人になつたのでしうね。信濃の北辺の大倉古城一つといつても、様々な歴史が刻まれているものですね。

「長野県史第二巻」からもう一人挙げてみましょう。ご存じ木曾義仲の妾と云われる「巴御前」について、こんな記述があります。「ツヨ弓の手タリ、荒馬乗ノ上手」と。さて、では当時のツヨ弓(強弓)とは一体どの位の強さであつたのか。県史には二人張り、三人張りと云い、大人の男子が二、三人で弦を張つたと書いてあります。凄いですね。

木曾町にある義仲館入口の、あの凛々しい姿の銅像や鎧を着け槍を持った美しい容姿の人形や画像を見た事を思

い出し、「巴御前」という女性のどこにそんな力があつたんだろうかと、弱弓をやつとこ引いている自分とを比較して、己がいかに情けなく思つてしまいました。

▲文中の五輪の塔



第58回全日本

遠的選手権大会

10月26日、28日/全弓連中央道場

男子一次予選 60m79cm 6射

大口 晴男 3中 不通過

上條 寛 0中 同

女子一次予選 60m79cm 6射

清水 和代 2中 不通過

棚田 千鶴 1中 同

第37回北信越

弓道選手権大会

11月11日/福井県立武道館弓道場

(団体)

男子有段者の部 36射

長野県31中(志村10中・中村10中・市川11中) 石川県28中 富山県

24中

女子有段者の部 36射

石川県28中 福井県24中 富山

県24中 長野県14中(松下3中・宮

島5中・木村6中)

称号受有者の部 36射

新潟県30中 福井県24中 石川

県24中 長野県20中(相澤6中・高

地4中・押金10中)

(個人)

男子有段者の部 12射

市川(長野県)11中 咲川(石川

県)10中 志村(長野県)10中

女子有段者の部 12射

灰田(石川県)10中 浦野(石川

県)9中 島(石川県)9中

称号受有者の部 12射

高野(新潟県)12中 中條(石川

県)11中 押金(長野県)10中

高等学校 新人体育大会弓道競技会

10月20日～21日/塩尻市弓道場

- 女子個人戦 12射
- 唐澤 舞(飯田女子) 11中
- 遠藤咲子(岡谷南) 10中
- 下里郁美(松商学園) 10中
- 男子個人戦 12射
- 林 義徳(木曾青峰) 11中
- 浅賀達也(飯田工業) 10中
- 矢島良純(長野吉田) 10中
- 女子団体戦 24射
- 下諏訪向陽(遠藤さやか・細井美季・米山美由紀・中畑友里) 15中
- 飯田女子(北原佳奈・松村摩友・倉田千鶴・松村摩衣) 15中
- 松本深志(小林春香・小林あゆみ・滝澤祥子・桑山美冴) 15中
- 男子団体戦 24射
- 松本深志(松井優太・佐々木規雄・久保田雄介・丸山直哉) 19中
- 長野(宮島一将・増澤祐太・渡辺智彦・丸山真嗣) 19中
- 須坂(町田郷樹・山崎智寛・藤井裕樹・青木寛翔) 17中



第26回全国高等学校選抜大会 長野県予選会

12月1日/小諸市総合体育館

男子決勝トーナメント

第1回戦(1人4射1チーム12射)

- 岩村田 11中 10中 長野
- 上田東 10中 4中 松本深志
- 豊科 9中 7中 下諏訪向陽
- 松本県ヶ丘7中 6中 須坂

準決勝

上田東 10+2中 10+1中 岩村田

豊科 8中 7中 松本県ヶ丘

決勝

上田東 8中 7中 豊科

男子成績

第1位 上田東高校(手塚暁・大平佳慎・宮島 凌・宮入貴文)

第2位 豊科高校

第3位 岩村田高校・松本県ヶ丘高校

女子決勝トーナメント

第1回戦

下諏訪向陽A 6中 5中 飯田女子A

下諏訪向陽B 8中 5中 長野日大

飯田女子B 8中 6中 松商学園

飯山南 8中 5中 伊那西

準決勝

下諏訪向陽B 8中 4中 下諏訪向陽A

私と弓道

松本支部 教士六段 近藤 明子

弓道を知り憧れたのは大東亜戦争も終わりに近付いた昭和十九年の春でした。一年余り小笠原流の先生に手解きを受けました。戦時中でもあり、何もかも軍隊一色に染まっていた、外地大連では体育は、竹槍、薙刀、小太刀を持ち、本物の鉄砲を担ぎ手榴弾を投げていました。唯一部活の弓道が生き甲斐であり楽しみでした。



戦後日本に帰国両親の故郷群馬に落ち着きました。其の後松本に移り結婚。仕事に追われていた時ラジオから全日本弓道大会で優勝した女性のインタビューが流れたのです。体に電流が走った様な衝撃でした。

それから数年、松本弓道場が出来て弓道教室の募集に飛び付き入会したのが三十二年振りの昭和五十一年一月。その日から又三十二年の泣き笑いの弓道と共に過ごした年月に感無量の想いです。

父親の様な恩師、厳しい指導、審査に合格した時の師や弓友の笑顔にほっとしたものです。

昭和最後の国体二巡目京都出場は、

主人が後一年の命と云われた時で私が元氣を出さねばと夢中でした。幸い女子総合で皇后杯を戴けて、主人の笑顔が忘れられない思い出となりました。亡くなって三年は暗い顔は人に見せまいと、大分突っ張っていました。弓友や身内の人達がそつと見守っていた事を後で知り、何も知らずにいた自分が情けなく反省と感謝でいっぱいでした。八段合格された山川先生と、教士残念の私が帰りが

一緒にになり、しよんぼりしている私に弓の苦勞話をされ、合格と残念会だ一杯ついで下さり慰めて下さったことは忘れられない思い出です。

主人の一周忌に六段合格の報告をした時。療養中の恩師に教士の報告が出来た時のこと等も思い出されます。

『筋骨を生かし身体で引く弓は年老うるとも衰うことなし』真の射技術は年と共に益々冴えてくるもの。生涯弓を楽しくする為には是非体得すべきである。との恩師の教えを胆に銘じて己を研鑽し後輩を育成することに情熱を燃やしている昨今の私なのです。

飯田女子B 6+2中 6+1中 飯山南

決勝

下諏訪向陽B 9中 4中 飯田女子B

女子成績

第1位 下諏訪向陽高校B(遠藤さや

か・細井美季・米山美由紀・

中畑友里)

第2位 飯田女子高校B

第3位 下諏訪向陽高校A・飯山南高校

各地大会

松本市民弓道大会

10月8日/護国神社弓道場

参加者 274名

高校団体の部 24射

松商学園A(百瀬由美香・吉田美都

・下里郁美) 14中 深志桜(中村夏

実・奥村静梨奈・野崎桃加) 13中 松

商学園B(呉井里実・田多井弘子・西

口朋実) 13中

高校個人の部 8射

梶原沙織(梶ヶ丘) 7中 野崎桃加

(深志) 6中 前田洋介(梶ヶ丘) 6

中 奥村静梨奈(深志) 6中 林陽

介(松商学園) 5中

一般団体の部 24射

信大B(那須将樹・宮入 健・平嶋

学) 16中 信大工(久保田良介・松島

中

一般個人の部 8射

那須将樹(信大) 6中 松島琢真

(信大) 6中 高野真奈美(信大医)

6中 高津汐里(信大) 6中 上條

寛(松本) 6中

宮脇利政

第5回千曲市長杯弓道大会

10月14日/千曲市弓道大会

参加者 38名

一般の部

林 英彦 外山勇一 中島 勁

山崎まち子 古澤金蔵

数本光敏

第27回池田町秋季弓道大会

10月14日/池田町弓道場

参加者 284名

一般団体の部

大町B(岩垂明彦・守屋道則・佐藤

君子) 池田B(菅根原登志男・久保

肇・久保田和恵) 大町A(西沢徹・

大橋友彦・丸山泰利)

一般個人の部

守屋道則(大町) 西沢徹(大町)

小松亮介(小松商学園)

弓仲間紹介

上田市弓道協会

総務部事務局 内山 幸三

昭和二十二年上田弓道会として、発
足したその時の道場は、一五八三年戦
国の世、上田の地を統治した真田昌幸
(信幸・幸村の父)三十六歳が築城し
た上田城の本丸内にあつた。

私が学生の頃、本丸内の弓道場で弓
を引く人を見るに、武道修練を重ね品
格の高い特別な人でなければ、その場
に立てないのだと眺めていたものです。
上田城築城より育まれ続けた武道の志
は、今の弓友に脈々と引き継がれてい
るのかと思つと身の引き締まる思いを
みなが感じているのではないでしょ
うか。

昭和五十三年になり上田城趾公園内
の現在の地に道場が移転新築された。
県下で初の十人立ち施設は、先駆とし
て注目された。建設にあたっては先輩
方のご努力は多大であつたと思われま
す。平成四年に上田弓道会より上田市
弓道協会と改め、より組織的な会とな
つた。昭和三十三年より開催されて、
本年度で五十回を数える近県弓道大会、

昭和四十九年より弓仲間の拡大を図る
スポーツ教室など、年々多数の参加を
いただいております。

近隣の丸子弓道協会・東御市弓道協
会と合わせて上小支部が組織されてお
り、当協会は、高井忠史会長以下140余
の会員数にて、飯伊・長野支部に次ぐ
規模である。上小支部の三道場では、
毎年秋に対抗親睦射会、そして合同で
昇段昇格者の祝射会が行われ、弓友相
互の親睦を深めている。

今後、伝統の上に東信地区の弓仲
間の拠点として、活発な活動が続けら
れることでしょう。



上田市制70周年記念での武田流「流鏑馬」演武
(上田城趾公園にて) 平成元年5月5日

高校団体の部

豊科A(綱島芳恵・上田智里・折井里枝) 深志義経(高津香奈枝・有沢あすか・青木祥子) 深志義仲(小林春香・小林あゆみ・滝沢祥子)

高校個人の部

横沢愛(志学館) 大平慧(豊科) 藤沢一樹(豊科) 片瀬茂

第5回千曲市長杯弓道大会

11月3日/千曲市弓道場

参加者 395名

高校男子団体の部

長野吉田(羽田克起・宮澤裕希・櫻井大助・丸山雄也・矢島良純) 須坂A(青木・伊藤・宮前・矢嶋・関)

須坂B(町田・中山・山崎・宮崎・藤井) 高校女子団体の部

下諏訪向陽(米山美由紀・高戸結実・中畑友里・細井美季・遠藤さやか) 屋代C(伊藤・福島・原・宮入・瀬在) 長野日大B(澤田・佐藤・高橋) 坂本・武井

松本城お城まつり奉射弓道大会

11月3日/護国神社弓道場

参加者 229名

高校男子の部 8射

六井和樹(豊科) 7中 長谷川力也(木曾) 6中 関 駿(木曾) 6中 平田琢磨(蘇南) 6中 林 陽介(松商) 6中

高校女子の部 8射

高山春香(梓川) 7中 片瀬恵理(美須々) 6中 横沢 愛(志学館) 6中 清沢美貴(美須々) 5中 奥原未知子(大町北) 5中

一般の部 8射

内山喜照(上諏訪) 7中 市川睦(長大) 7中 宮崎 完(上田) 7中 井口正弘(駒ヶ根) 7中

第42回飯島町県下弓道大会

11月18日/飯島町弓道場

参加者 159名

学生個人の部 8射

原田 勇(下農) 6中 宮下枝里子(下農) 6中 村松剛宏(下農) 6中 中村絵梨奈(伊那北) 5中 村田啓一(赤穂) 5中

一般個人の部 8射

平澤孝一(伊那) 7中 中村 宏(下諏訪) 6中 柴 種徳(伊那) 6中 内山嘉照(稲丘) 6中 松枝敏広(豊丘) 6中

団体

豊丘B(亀岡英司・青山寿恵・松枝敏広) 松川(臼田和足・南島 健・倉田宗夫) 稲丘(西塚高雄・市川隆光・内山喜照)

射詰賞 学生の部

宮下枝里子(下農) 5中 射詰賞 一般の部

平澤 孝一(伊那) 5中

第63回南信弓道大会

11月25日/県営飯田弓道場

参加者 260名

一般四段以上の部

志村 仁(めざせ天竺) 中村 宏(めざせ天竺) 市川隆光(めざせ天竺) 前沢秀夫(駒ヶ根) 倉田宗夫(高森)

一般参段以下の部

木下拓馬(かざこし) 高山寿恵(豊丘) 常盤時久(鼎) 矢口広子(泰阜) 齊藤実(松川)

高校有段者の部

宮下枝里子(下農) 佐々木彩乃(飯女) 吉川直輝(長姫) 熊谷俊希(下農) 渡辺由紀(風越) 高校無段者の部 加山篤樹(風越) 宮島 輝(赤穂)

村田啓一(松川) 牛山能(風越)

木下元成(下農)

団体の部

教員(塩沢忍・中島啓・古川忠司) 駒ヶ根A(前沢秀夫・杉山滋志・水田明美) めざせ天竺(志村仁・中村宏・市川隆光)

村松康尾



成年男女一次予選通過者

成年男子 9名

小林大志(塩尻) 松井幸彦(安曇) 亀岡英志(南佐久) 森山敏広(上小) 市川隆光(諏訪) 清水伸浩(諏訪) 志村 仁(諏訪) 中村 宏(諏訪) 牧内和宏(飯伊)

成年女子 9名

栗林 薫(松本) 高地美佐子(上小) 戸田裕子(上小) 清水和代(飯山) 本藤幸恵(長野) 高山寿恵(飯伊) 中川菜美(諏訪) 原 美雪(諏訪) 毛利明日香(諏訪)



平成19年度推薦 5月24日

錬士の部 井出 隆(松本)

北信越三県連合審査

10月21日 飯田市

参段の部 茶屋 彰子(飯伊) 岩崎 康子(松本) 原 利樹(飯伊) 高山 寿恵(飯伊) 井口 正弘(上伊那) 片桐 武(上伊那)

四段の部 塚田 琢磨(上伊那) 中 村 禮子(上伊那) 杉山 滋志(上 伊那) 林 節生(飯伊)

五段の部 市川 隆光(諏訪) 中村 宏(諏訪) 吉田 博行(松本) 藤 原 悠次(信大) 松下はるみ(長野)

宮島さおり(長野)

(東京) 定期中央審査

11月4~6日 東京

六段の部 阿部 緑(上小)

(関東) 錬士臨時中央審査

11月18日 群馬県

錬士の部 松倉 志(長野)

特別臨時審査

12月23日 東京

教士の部 大久保まき子(長野)

10月27日/松本市柔剣道場会議室

常任理事会

会議報告

〔議題〕・会計処理規定について

・旅費規程について

・競技運営要項について

・その他

11月24日/塩尻市中信会館

常任理事会

〔議題〕・平成19年度事業実施報告に ついて

・平成20年度事業計画(案) について

・平成20年度予算案)につい て

・その他

12月9日/塩尻市中信会館

事業部会

〔議題〕・平成19年度事業について

・平成20年度事業について

・その他

今後の会議予定

20年1月13日 理事会 塩尻市

1月27日 評議員会 塩尻市

平成19年

ご冥福をお祈りします

教士六段 柴 韓治郎様(上伊那)

教士六段 萩原 恒雄様(上小)

五段 常間地良治様(飯伊)

四段 長谷川久男様(飯山)

三段 林 寿次様(飯伊)

二段 武捨 栄徳様(上小)

初段 清水 源八様(飯伊)

訂正 前号(第二十三号)八頁「私と弓道」文中 「至誠館弓道場」は「志誠館」の誤りでしたので、本人申し出により訂正させていただきます。

編集後記

新年明けましておめでとうございま す。弓士の皆様には、健やかな新春を お迎えのこととお喜び申し上げます。

節目の平成20年、「弓道なごの」も 発行以来6年目の春を迎えることがで きました。私も発行以来広報部員とし て編集に携わってまいりましたが、皆 様方の温かいご支援に改めて感謝申し 上げます。

昨年は、山川先生が長野県弓道連盟 会長に就任され、新体制での一年目の 年でありました。数多くの成果を残し た年でありましたが、その中でも秋田 国体における、成年男子の近似的準優勝 ・少年男子近似的の3位の成績は、大変 見事でありました。

また、昇格者では錬士14名と近年に なく大勢の合格者がありましたことも 大きな成果であったと思います。

本年度は、長野県弓道連盟が更なる 発展の年と信じております。弓士の皆 様のご活躍を心からご祈念申し上げま す。

広報部員一同、より良い「弓道なご の」目指して頑張ります。

百瀬 正

謹賀新年

全日本弓道具協会会員

中島弓具店

有限会社



〒380-0935

長野市中御所1丁目12番5号 TEL 026-228-3443 FAX 026-223-4855

